**TIPS　住所データを位置コードに変換するには？**

**Ｑ　　住所データを持っていますが、位置コードをどうやって作るのでしょうか？**

Ａ　　位置コードは本章記載のとおり、緯度･経度に基づき作成されています。

しかし、住所から緯度・経度を調べ、これを基に計算を行うのは、データが大量な場合等、大変な手間を要します。

そこで、ここでは、よく使われている方法を紹介します。

**１　国土交通省が提供する「JNS住所認識システム」を利用する**

国土交通省国土計画局が整備・提供している街区レベル位置参照情報を用いて、利用者が保有する住所情報を含む台帳等のデータファイルに対し、位置座標（緯度・経度、平面直角座標）を付与する、アドレスマッチングプログラムです。

（以上、「JNS住所認識システム」操作説明書（pdf）より抜粋）

リンク　<http://nlftp.mlit.go.jp/isj/jns_agreement.html>

**２　東京大学が提供するアドレスマッチングサービスを利用する**

　住所・地名フィールドを含むCSV形式データにアドレスマッチング処理を行い、緯度経度または公共測量座標系の座標値を追加するために利用します。

（以上、当該サイト

[http://newspat.csis.u-tokyo.ac.jp/geocode/modules/addmatch/index.php](http://newspat.csis.u-tokyo.ac.jp/geocode/modules/addmatch/index.php?content_id=1)より抜粋）

リンク　<http://newspat.csis.u-tokyo.ac.jp/geocode/>

　このサービスは、インターネットを介したデータのやり取りを伴います。そのため、個人情報が掲載された名簿の取扱い等、このサービスの利用が適さない場合があります。